

## 令和3年度卒業式を行いました



〔卒業生と教職員一同（中央左から寺田学院長、佐々木副学院長）〕

3月14日に令和3年度卒業式を行い、教職員や保護者が見守る中、第一期生31名が北森カレッジを巣立ちました。式典は新型コロナウイルス感染対策のため規模縮小を余儀なくされましたが、道内各地域から数多くの祝電などが送られ、お祝いムードに包まれました。

式典では、卒業証書授与に続き、成績優秀者として佐藤直人さん、亀山陽司さん、武田麦さんが学院長表彰を受賞し、学院長式辞や来賓祝辞（岩田 林産試験場長）を頂きました。また、在校生送辞を受け、卒業生代表の和泉一紘さんが「同じ目標を持つ仲間と励まし合いながら2年間取り組むことができた。卒業生それぞれの進路は異なるが、学んだことを誇りにしたい」と力強く応じました。

第一期生は、入学早々、臨時休業や実習等の中止・延期など、コロナ禍に翻弄された学校生活を送りましたが、地域や林業・木材産業関係企業の皆さまに見守られながら、無事に卒業することができました。なお、就職を希望する生徒30名全員が森林組合や関係の企業等から採用内定を頂いています。

卒業生は、北森カレッジで身につけた知識や技術、仲間を財産として、全道各地の林業・木材産業の現場で森林づくりをスタートさせますので、引き続き、ご支援をお願いします。

## 専任教員からメッセージ

舟生 憲幸 先生  
(第一期生 担任)

はじめての森林調査の実習で山に来た生徒たちはこんなことを言いました。「先生、道がないけどどこを歩くんですか」、「ササがあるのでこれ以上進めません」と。

2020年に開校した北森カレッジは何もかもが初めてでした。2年が経ち、生徒たちは森林内を何のためらいもなく当たり前ガシガシと進みます。チェーンソーを使って立木を倒します。林業機械も操作できます。入学時には想像もなかったことでしょう。

とりわけ一期生は「はじめて尽くし」と「コロナ禍の制限」によって、大きな不安や苦勞、不満があったと思いますが、誰も歩いていない北森カレッジの道をササ深い森林を突き進む様に切り開いてくれました。とてもたくましく感じました。私たちも同じ教員1年生としてスタートし、不安などありましたが、生徒の力を借りながら共に成長することができ感謝しています。卒業後は2年間の学びとクラスメイトとのつながり、北森カレッジの道を創った経験を財産に活躍されることを期待しています。

一期生が無事に卒業、就職できたことは、見守っていただいた保護者の皆様と、これまで見学実習やインターンシップ、就職ガイダンス等々でご支援、ご協力いただいた企業・団体・関係者の皆様のお陰です。心から感謝しております。

## 開校2年目の1年間を振り返って

北森カレッジが開校して2年が経とうとしています。第一期生は、1年次に身に付けた基礎を踏まえ、即戦力となる技術に磨きをかけ、企業等の中核を担うための現場管理能力など、より専門的で幅広い知識の習得に励みました。そして2年間の集大成となる自主研究では、これまで培った知識や能力を活かし、テーマを生徒自ら定めて研究・発表しました。中には、チェーンソー作業や林業安全のマニュアルを作成した生徒もいて、後輩達にも参考となる研究となりました。

第二期生はコロナ対策でオンライン授業が多くなり、冬期のインターンシップが中止になるなど影響はありましたが、学院では昨年経験も踏まえ効率的・効果的な学びになるよう努めました。二期生からは、一期生が希望する就職先に次々と内定する姿を見て刺激を受け、次は自分たちの番だという意気込みが感じられます。

来年度は、これまでの学院運営の状況を踏まえカリキュラムを大幅に見直します。生徒の特性や能力に応じて学ぶ選択科目を設けるなど、より良い学びを提供できるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



〔第二期生の授業風景〕



〔第一期生の授業風景〕

## 学院運営評価結果の公表について

本学院では、学校教育法に基づき、教育活動や学院運営状況について、PDCAサイクルにより評価、改善等を図るとともに、その内容について生徒及び保護者の皆さまをはじめ、林業・木材産業の業界関係者に広く情報提供することとしています。

今年度の学院運営評価結果は次のとおりとなっており、評価調書などの詳細は、北森カレッジのホームページで公表していますので、ご覧ください。

評価項目	一次評価 (学院)	二次評価 (外部有識者)			
		実施方法	取組内容	評価結果	改善策
(1)-ア 即戦力となる人材の育成	A	A	A	B	A
(1)-イ 企業等の中核を担う人材の育成	A	A	A	A	A
(2) 身につけるべき能力を習得するための教育課程	A	A	A	A	A
(3) 能力のある生徒の受け入れ	A	A	A	A	A
(4) 学院の適切な運営	A	A	A	A	A

注) 一次評価について、「A」は順調、「B」は概ね順調、「C」は進展あり、「D」は見直し等が必要を表す。  
二次評価について、「A」は適切、「B」は概ね適切、「C」はやや不適切、「D」は不適切を表す。

## ■ ■ ■ ■ ■ 搭乗型シミュレーターを導入しました ■ ■ ■ ■ ■

北森カレッジでは、全国初となる搭乗型シミュレーターを導入しました。

林業機械のシミュレーターは、生徒が安全に林業機械の操作技術を習得することができる所が特徴であり、林業先進国であるフィンランドのリベリア林業専門学校の教育プログラムを参考にしながら、北海道の作業システム等に応じた練習メニューの開発に取り組んでいます。

現在までにJohn Deere社製「卓上型」のコンパクトシミュレーターを10台導入済みですが、今回新たに導入したのはフィンランドのPONSSE社製で、実機のキャビンの仕様が精密に再現されており、現場に近いリアルな操作感覚で学ぶことができます。

なお、このシミュレーターは、次年度の授業で本格活用する予定です。



〔搭乗型シミュレーター〕



〔卓上型シミュレーター〕

## ■ ■ ■ ■ ■ 近藤林業株式会社から100万円が寄附されました ■ ■ ■ ■ ■

1月17日に、近藤林業株式会社様から当学院に対し、これからの林業・木材産業を担う後継者の育成に貢献することを目的として100万円が寄附され、これを受けて知事感謝状を授与しました。

贈呈式当日は、同社の長田武興 代表取締役社長から寺田学院長に対し目録が手渡され、「北の森づくり専門学院は、企業の中核を担う人材、マネジメントができる人材を育成することから大いに期待している」とお言葉をいただきました。

100万円の高額寄附は、川上の林業事業体としては初めてであり、頂いた寄附金は生徒の自主的な活動に使用する予定です。



〔右が長田代表取締役社長〕

## ■ ■ ■ ■ ■ 支援協議会から給付金が贈呈されました ■ ■ ■ ■ ■

3月4日に、北海道林業・木材産業人材育成支援協議会（有末道弘会長）の巻口副代表幹事と須田事務局長が来校され、当学院の1年生に対し、インターンシップ等に伴う交通費や宿泊費などに活用してもらうため、総額約96万円の給付金を贈呈しました。

今回の給付金は、2回目の短期インターンシップが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったことを踏まえ、減額して支給されました。

当日の贈呈式では、巻口副代表幹事から生徒に対し「第一期生が無事就職できた。北森カレッジの生徒に対し、市町村を含め業界が非常に期待している。そのことを念頭に置き勉学に励んでいただきたい」と呼びかけられました。目録を手渡された生徒代表の部屋希美さんは「短期インターンシップを経験し、業種や地域など就職へのイメージを持ち始めた。これから本格的に就職活動に取り組みたい」と気持ちを伝えました。

この給付金は、各生徒へ年2回支給され、今年度の支給総額は約730万円となりました。



〔右は部屋希美さん〕

## 北森会が設立されました

北森カレッジでは、第一期生が令和4年3月に卒業するにあたり、これまでの保護者会、学生会及び同窓会の3会を一本化し、新たに「北森会（きたもりかい）」を設立しました。

今後、北森会では、学院祭の開催や会報の発行など学院の教育環境の向上に資する活動を行ってまいりますので、運営に対するご理解とご協力をお願いします。



〔卒業生を送る会を開催〕

## 第二期生の就職へ向けて

北森カレッジでは、第二期生の就職活動の第一弾として、企業等が自社の仕事内容等を生徒にPRし採用につなげる「北森カレッジ合同企業説明会」を3月15日に開催しました。

当日は、59社の企業等に参加いただき、生徒は各々興味のある企業ブースを訪問し、とても真剣な表情で話を聞いていました。

北森カレッジでは、来年卒業を迎える生徒への求人票の受付を開始しており、生徒が興味のある企業に対してアクションを起こすきっかけになりますので、生徒を採用したいとお考えの企業様は、ぜひ求人票の提出をお願いします。



〔北森カレッジ合同企業説明会〕

## 北森カレッジ生徒募集について

北森カレッジでは、第三期生の入学者の確保に向けて、SNSなどでの北森カレッジの魅力発信をはじめ、オープンキャンパスや学院説明会の開催、道内外の高校などへの個別訪問やポスター、パンフレットの配布、首都圏でのPR活動など積極的に行ってまいりました。

その結果、昨年10月実施の推薦入学試験や、11月と本年1月実施の一般入学試験において、定員の40名を確保しました。

今後とも、定員の確保に向けて広報を行ってまいりますので、本道の林業・木材産業に興味のある方や北森カレッジに興味のある方に、情報提供頂けると幸いです。

なお、次年度についても、オープンキャンパスや定期的な学院説明会等を実施することとしており、日程や募集要項の公表等は、随時ホームページ等でお知らせします。



〔昨年7月のオープンキャンパス〕

### ■編集後記■

北森カレッジの開校から2年。この度、初の卒業生を輩出することができました。入学当初の顔写真を見返すと、この2年間で顔つきがたくましくなったと感じています。これから先、卒業生には「どうぞご安全に」、北海道の林業・木材産業を盛り上げてほしいです。

なお、第一期生の卒業に合わせ、編集担当も北森カレッジを離れることとなりました。2年間ご愛読頂きありがとうございます。引き続き「OGARU」をよろしくお願いたします。

「OGARU」とは

北海道の方言で「成長する」「大きくなる」という意味の言葉「おがる」です。北森カレッジの生徒や、北海道の森林が大きく成長する願いを込めています。

### ■生徒の様子はこちらから■



発行

〒078-8381 北海道旭川市西神楽1線10号

北海道立北の森づくり専門学院 教務課

Tel(直通)：0166-75-6163 Fax：0166-75-6160